

厚生労働大臣 殿

岡山大学病院長
森 田

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	263.2	人
--------	-------	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	214人	172.5人	386.5人	看護業務補助	3人	診療エックス線技師	0人	
歯科医師	97人	45.8人	142.8人	理学療法士	6人	臨床検査 臨床検査技師	52人	
薬剤師	40人	0人	40人	作業療法士	3人		衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人		そ の 他	0人
助産師	18人	0.4人	18.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看護師	722人	14.35人	736.3人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人	
准看護師	1人	0人	1人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人	
歯科衛生士	14人	0.75人	14.7人	歯科技工士	6人	事 務 職 員	153人	
管理栄養士	4人	0.75人	4.7人	診療放射線技師	36人	そ の 他 の 職 員	28人	

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	673.5 人	19.6 人	693.1 人
1日当たり平均外来患者数	1,582.0 人	592.4 人	2,174.4 人
1日当たり平均調剤数		1,196.6	剤

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
・門脈圧亢進症に対する経頭静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	10人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	138人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	8人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	132人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	12人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	<input checked="" type="radio"/> 有・無	13人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

※非該当

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	112人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	67人
・多発性硬化症	47人	・ウェゲナー肉芽腫症	11人
・重症筋無力症	122人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	98人
・全身性エリテマトーデス	271人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	42人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人
・再生不良性貧血	50人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	117人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	67人	・原発性胆汁性肝硬変	57人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	193人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	65人	・特発性大腿骨頭壊死症	76人
・結節性動脈周囲炎	48人	・混合性結合組織病	34人
・潰瘍性大腸炎	215人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	31人	・特発性間質性肺炎	21人
・ピュルガー病	29人	・網膜色素変性症	40人
・天疱瘡	32人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	73人	・原発性肺高血圧症	38人
・クローン病	65人	・神経線維腫症	28人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・悪性関節リウマチ	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	334人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	7人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	72人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	5人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会 消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 乳腺・内分泌外科とのカンファレンス		月1回程度 週1回程度 年4回程度
剖検の状況	剖検症例数	23 例	剖検率 12.4 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬剤誘発性QT延長症候群における遺伝子変異および遺伝子多形性の検討	大江 透	循環器内科	千円 1,000	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	大江 透	循環器内科	3,000	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
無症候性Brugada症候群の予後に関する研究	大江 透	循環器内科	1,300	補 (委) 国立循環器病センター
ブルガダ症候群における不整脈基質－臨床電気生理学的及び分子生物学的検討	永瀬 聡	循環器内科	1,700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
催不整脈右室心筋症 (ARVC) の病態と治療に関する研究	草野 研吾	循環器内科	800	補 (委) 国立循環器病センター
ALSの分子メカニズム解明と新規治療法開発の基礎的臨床的研究	阿部 康二	神経内科	6,700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療に対する研究	阿部 康二	神経内科	800	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
筋萎縮性側索硬化症に対する再生治療および新規抗アポトーシス治療法の開発	武久 康	神経内科	1,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
SOD1タンパク修飾検出による筋萎縮性側索硬化症の原因究明と新規診断法開発	村上 哲郎	神経内科	1,380	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断の開発と応用に関する研究	村上 哲郎	神経内科	1,000	(補) 平成18年日本ALS協会研究助成金 委
消化器癌形成における遺伝子後成変異と突然変異の相互作用の解明と臨床応用への展開	松原 長秀	消化管外科	8,100	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
高分化ヒト膵β細胞株を用いたパイオ人工膵臓開発の基礎的研究	小林 直哉	消化管外科	6,400	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ナノバイオテクノロジーに基づく新規糖尿病治療システムに関する基盤研究	小林 直哉	消化管外科	3,590	補 (委) 岡山県産業振興財団
可逆性不死化肝臓細胞を用いた人工肝臓システムの開発に関する先導調査	小林 直哉	消化管外科	6,000	補 (委) 産業技術研究助成事業費助成金 (NEDO) : 先導調査研究
ヘパラーゼの機能解析－分化誘導機能と血管新生作用の解析と制御による癌治療開発－	猶本 良夫	消化管外科	1,100	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
心臓死ドナーからの肺移植における血栓対策に関する研究	伊達 洋至	呼吸器外科	2,100	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成	公文 裕巳	泌尿器科	千円 186,912	(補) 文部科学省 平成18年度科学技術振興調整費 委
尿路性器癌の抗癌剤耐性獲得における新規分子機構解明と治療法開発のための基盤研究	那須 保友	泌尿器科	3,200	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
尿路性器癌に対するテロメラーゼ活性を標的とした新規ウイルス療法の開発研究	賀来 春紀	泌尿器科	1,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
前立腺をターゲットとするボツリヌス神経毒素注入療法の基礎的検証	渡辺 豊彦	泌尿器科	1,410	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ポリアルギニンを用いたP53ペプチド導入法による新しい膀胱癌治療薬の開発研究	井上 雅	泌尿器科	1,810	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
脊髄損傷後の神経機能における血液-脳関門形成の分子機構-	吉鷹 輝仁	整形外科	700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
平成18年度地域新生コンソーシアム研究開発事業(日本発・日本ブランドの高度医療手術支援ロボットシステムの開発)	阿部 信寛	整形外科	930.3	補 (委) 財団法人岡山県産業振興財団
希少難治性皮膚疾患に関する調査研究班	岩月 啓氏	皮膚科	2,000	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
ベーチェット病に関する調査研究班	岩月 啓氏	皮膚科	1,000	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
カプセル化した幹細胞の脳内移植による神経疾患の治療	伊達 勲	脳神経外科	5,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ヒト臍帯血細胞を用いたパーキンソン病に対する細胞移植療法に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	1,900	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
パーキンソン病に対する神経幹細胞を用いた細胞移植に関する研究	杉生 憲志	脳神経外科	700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
頸髄症モデルに対する神経栄養因子産生成体神経幹細胞の移植に関する研究	三好 康之	脳神経外科	1,200	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性疼痛に対するsiRNAを用いた遺伝子療法の基礎的研究	横山 正尚	麻酔科蘇生科	1,700	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
ミトコンドリアのエネルギー動態からみた脳虚血の治療法	森田 潔	麻酔科蘇生科	3,400	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	83,200	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	森島 恒雄	小児科	千円 1,100	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	700	(補) 厚生労働省科学研究費補助金 委
小児における急性脳炎・脳症の病態・診断・治療に関する研究	森島 恒雄	小児科	14,690	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
急性脳症における解熱剤の薬物動態に関する研究	森島 恒雄	小児科	1,000	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
新しい酸化ストレスのバイオマーカー：呼吸一酸化炭素濃度	松三 昌樹	麻酔部	1,100	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
敗血症性多臓器障害に対する細胞保護療法の開発	片山 浩	集中治療部	1,100	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
脳由来神経栄養因子のプロモーター配列に対するsiRNAを用いた鎮痛法の開発	佐藤 哲文	集中治療部	1,400	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
人工筋肉を用いた立位補助システムに関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	1,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
がん特異的増殖機能を有するウイルス製剤と高感度GFP蛍光検出装置を用いた体外超早期がん診断及び体内微小リンパ節転移診断システムに関する研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	20,400	(補) 厚生労働省科学研究補助金 委
肺癌手術におけるテロメラーゼ活性を指標とした蛍光ナビゲーション・システムの開発	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	6,600	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
がん抑制遺伝子治療におけるナノバイオ・ウイルス製剤OBP-301の併用効果	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	3,592	補 (委) 岡山県産業振興財団
テロメラーゼを標的としたアロ不死化樹状細胞を用いた消化器癌の新しい免疫療法の開発	香川 俊輔	遺伝子・細胞治療センター	1,300	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
指尖毛細血管採血による血漿抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度の判定法の研究	高柴 正悟	歯周科	19,300	(補) 日本学術振興会科学研究費補助金 委
上皮間葉相互作用を模倣した歯胚再生モデルに関する研究-歯原性組織の器官培養と胚性幹(ES)細胞を利用した歯胚再生とマスターキー遺伝子の解析-	窪木 拓男	補綴科(クランブリッジ)	8,710	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委
三叉神経痛において生じている一次侵害受容神経過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科(クランブリッジ)	5,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
三叉神経痛において生じている神経節細胞過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科 (ク라운ブリッジ)	千円 300	(補) 両備櫻園記念 委 財団
発生過程を再現する象牙質再生技術の開発—歯胚や歯髄の不死化細胞株樹立とその応用—	完山 学	補綴科 (ク라운ブリッジ)	4,800	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
アパタイトコーティング層の微細構造制御による新しい生体活性型インプラント	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	3,700	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
アドレナリンレセプターの遺伝子多型からみた慢性筋痛の病態解明と症型分類	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	1,900	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
ポリリン酸処理によるチタンインプラントの高機能化	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	1,000	(補) 岡山県産業振 委 興財団
リン酸系高分子の応用によるチタンインプラントの成長因子徐放制御	前川 賢治	補綴科 (ク라운ブリッジ)	300	(補) 両備櫻園記念 委 財団
口腔インプラントの骨結合を促進する遺伝子導入法の検討	鈴木 康司	補綴科 (ク라운ブリッジ)	1,200	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
インプラント周囲の骨破壊活動性を評価できるチェアサイド検査システムの実用化	荒川 光	補綴科 (ク라운ブリッジ)	1,000	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
結合組織成長因子 (CCN2/CTGF) を用いた顎顔面領域の三次元軟骨再生	藤澤 拓生	補綴科 (ク라운ブリッジ)	2,000	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
モノアミン遺伝子多型よりみた睡眠時ブラキシズムの素因に関する分子遺伝学的研究	水口 一	補綴科 (ク라운ブリッジ)	2,100	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
オゾン照射によるエルピウムヤグレーザー照射象牙質の脆弱層強化	峯 篤史	補綴科 (ク라운ブリッジ)	3,500	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
重度変形性顎関節症に対する抗サイトカイン療法の実用化	上原 淳二	補綴科 (ク라운ブリッジ)	1,500	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
第二世代BMPを応用した口腔インプラントの骨結合促進と歯槽骨再生	縄稚久美子	補綴科 (ク라운ブリッジ)	2,100	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
構音障害に対するNasal Speaking Valveを用いた新しい治療法	皆木 省吾	補綴科 (咬合・義歯)	1,700	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
睡眠体位矯正によるブラキシズム・無呼吸への影響～従来型スプリントとの比較	長谷川浩一	補綴科 (咬合・義歯)	500	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金
培養骨膜複移植を用いた顎骨組織再生に関する研究	植野 高章	口腔外科 (再建系)	3,200	(補) 文部科学省科 委 学研究費補助 金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨粗鬆症に対するプロピオン酸菌発酵物質の分子遺伝子解析と骨代謝改善作用の検討 効率的骨粗鬆症の遺伝子的病態解明	菅原 利夫	口腔外科 (再建系)	千円 14,000	⑧ 文部科学省科学研究費補助金 委

計 64

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Therapeutic Apheresis and Dialysis 10:3 242-246, 2006	Centrifuge Leukocytapheresis Therapy for Ulcerative Colitis without Concurrent Corticosteroid Administration	Okada H	消化器内科
Digestion 74, 15-18, 2006	Therapeutic Efficacy of Leukocytapheresis in a Pregnant Woman with Severe Active Ulcerative Colitis.	Okada H	消化器内科
Dig Liver Dis 39, 422-429, 2007	Predictive factors of efficacy of leukocytapheresis for steroid-resistant ulcerative colitis patients.	Takemoto K	消化器内科
臨床心臓電気生理 29: 257-264, 2006	KCNJ2の遺伝子変異を認めるAndersen症候群(LQT7)における心臓電気生理学的検討	永瀬 聡	循環器内科
European Heart Journal 27: 1579-1583, 2006	Low-dose isoproterenol for repetitive ventricular arrhythmia in patients with Brugada Syndrome	Kusano K	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol 47(2): 250-255, 2006	Carvedilol Inhibits Proliferation of Cultured Pulmonary Artery Smooth Muscle Cells of Patients with Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension	Nakamura K	循環器内科
Circulation Journal 70(8): 1001-1005, 2006	Elevated Levels of Oxidative DNA Damage in Serum and Myocardium of Patients With Heart Failure	Nakamura K	循環器内科
Acta Medica Okayama 60(3): 191-195, 2006	Continuous Positive Airway Pressure Ameliorated Severe Pulmonary Hypertension Associated with Obstructive Sleep Apnea	Ohe T	循環器内科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 343(2006) 719-730	Alteration of familial ALS-linked mutant SOD1 solubility with disease progression: its modulation by the proteasome and Hsp70	Nagai M	神経内科
J. Neurosci. Res. 83(2006) 119-133	Disease progression of human SOD1 (G93A) transgenic ALS model rats.	Nagai M	神経内科
New York, (2006) p. 525-550.	Experimental Models of Motor Neuron Disease. Amyotrophic Lateral Sclerosis. ed by Mitsumoto H, Przedborski S, Gordon PH. Taylor&Francis Group;	Nagai M	神経内科
Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A. 103 (2006) 12132-12137	The inflammatory NADPH oxidase enzyme modulates motor neuron degeneration in amyotrophic lateral sclerosis mice.	Nagai M	神経内科
Nat Neurosci. 10 (2007) 615-22	Astrocytes expressing ALS-linked mutated SOD1 release factors selectively toxic to motor neurons	Nagai M	神経内科
Neurology 66 (2006) 144-145	Progression of the olivopontocerebellar form of adrenoleukodystrophy as shown by MRI.	Kamiya T	神経内科
Journal of Cerebral. Blood Flow Metabolism 26:1263-1273, 2006	Implantation of a new porous gelatin-siloxane hybrid into a brain lesion as a potential scaffold for tissue regeneration.	Deguchi K	神経内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal Neuroscience Research 84:980-992, 2006	Intrathecal injection of epidermal growth factor and fibroblast growth factor 2 promotes proliferation of neural precursor cells in the spinal cords of mice with mutant human SOD1 gene.	Nagai M	神経内科
Brain Research 1093:190-197, 2006	Distribution of inducible nitric oxide synthase and cell proliferation in rat brain after transient middle cerebral artery occlusion.	Deguchi K	神経内科
Biochemical Soc. Trans. 34:1310-1312, 2006	Neuroprotection and Neurosupplementation in Ischemic Brain.	Yamashita T	神経内科
Brain Research 1132:29-35, 2006	Vascular endothelial growth factor promotes brain tissue regeneration with a novel biomaterial polydimethylsiloxane-tetraethoxysilane.	Kamiya T	神経内科
American Journal Pathology 169: 1365-1375, 2006	Cortical neuronal and glial pathology in TgTauP301L transgenic mice: neuronal degeneration, memory disturbance, and phenotypic variation.	Abe K	神経内科
Neurological Research 28:822-825, 2006	Different expression of low density lipoprotein receptor and ApoE between young adult and old rat brains after ischemia.	Abe K	神経内科
Neurological Research 28:461-468, 2006	Temporal profile of neural stem cell proliferation in the subventricular zone after ischemia/hypoxia in the neonatal rat brain.	Abe K	神経内科
Neuroscience Letter 403:63-67, 2006	Enhanced neurogenesis in the ischemic striatum following EGF-induced expansion of transit-amplifying cells in the subventricular zone.	Yamashita T	神経内科
Journal Neurological Science 251: 107-109, 2006	Clonic perseveration in the subacute stage of Japanese encephalitis.	Abe K	神経内科
Brain Research 1094:192-199, 2006	Enhanced accumulation of tau in doubly transgenic mice expressing mutant betaAPP and presenilin-1.	Abe K	神経内科
Brain Research 1083:196-203, 2006	Parvalbumin and calbindin D-28k immunoreactivity in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene.	Abe K	神経内科
Journal of Neuroscience 26:6627-6636, 2006	Subventricular zone-derived neuroblasts migrate and differentiate into mature neurons in the post-stroke adult striatum.	Yamashita T	神経内科
Curr Med Chem. 14(14):1573-8. 2007	Pancreas development and beta-cell differentiation of embryonic stem cells.	Kobayashi N	消化管外科
Nat Protoc. 2(2):347-56. 2007	Differentiation of mouse embryonic stem cells to hepatocyte-like cells by co-culture with human liver nonparenchymal cell lines.	Kobayashi N	消化管外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell Transplant. 15(10):939-44. 2006	Amelioration of diabetes in mice after single-donor islet transplantation using the controlled release of gelatinized FGF-2.	Kobayashi N	消化管外科
Cell Transplant. 15(10):921-7. 2006	Self-assembling peptide nanofiber as a novel culture system for isolated porcine hepatocytes.	Kobayashi N	消化管外科
Transplantation. 2007 Jan 27;83(2): 129-37.	Construction and transplantation of an engineered hepatic tissue using a polyaminourethane-coated nonwoven polytetrafluoroethylenefabric.	Kobayashi N	消化管外科
Nat Biotechnol. 2006 Nov;24(11): 1412-9.	Reversal of mouse hepatic failure using an implanted liver-assist device containing ES cell-derived hepatocytes.	Kobayashi N	消化管外科
Gut. 2007 Jan;56(1):13-9. Epub 2006 Jun 19.	Oesophageal squamous cell carcinoma may develop within a background of accumulating DNA methylation in normal and dysplastic mucosa.	Matsubara N	消化管外科
Differentiation. 2006 Jun;74(5): 235-43.	Heparanase regulates esophageal keratinocyte differentiation through nuclear translocation and heparan sulfate cleavage.	Naramoto Y	消化管外科
J Heart Lung Transplant 25: 1148-53, 2006	Post-mortem administration of urokinase in canine lung transplantation from non-heart-beating donors.	Sugimoto R	呼吸器外科
J Thorac Cardiovasc Surg 132: 1213-8. 2006	Bilateral native lung-sparing lobar transplantation in a canine model.	Sugimoto R	呼吸器外科
J Heart Lung Transplant 25: 454-60, 2006	Optimal time for post-mortem heparinization incanine lung transplantation with non-heart-beating donors.	Okazaki M	呼吸器外科
Acta Med Okayama 60(6): 299-309, 2006	Involvement of STAT3 in bladder smooth muscle hypertrophy following bladder outlet obstruction.	Kumon H	泌尿器科
Int J Urol 13(7): 932-8, 2006	Comparison of 25 and 75 mg/day naftopidil for lower urinary tract symptoms associated with benign prostatic hyperplasia: a prospective, randomized controlled study.	Kumon H	泌尿器科
Urology 69(3): 457-61, 2007	Comparative study of oncologic outcome of laparoscopic nephroureterectomy and standard nephroureterectomy for upper urinary tract transitional cell carcinoma.	Saika T	泌尿器科
Int J Cancer 120(10): 2178-84, 2007	Antibody response against NY-ESO-1 in CHP-NY-ESO-1 vaccinated patients.	Saika T	泌尿器科
Int J Mol Med. 19(3):363-8, 2007	REIC/Dkk-3 as a potential gene therapeutic agent against human testicular cancer.	Kumon H	泌尿器科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of cancer research and clinical oncology 132(7): 444-50, 2006	Chromosomal and genetic imbalances in synovial sarcoma detected by conventional and microarray comparative genomic hybridization.	Ozaki T	整形外科
整形・災害外科 50: 1025-1030, 2007	THAセメントレスカップのスクリー固定前後での角度変化 -ナビゲーションを用いた計測-	三谷 茂	整形外科
膝 31: 267-270, 2006	TKAにおけるBrainLAB VectorVision CT-based Navigation (1.6) におけるレジストレーションの精度評価とMIS 手技への応用	阿部 信寛	整形外科
日本脊椎インストゥルメンテーション学会誌 6:40-43, 2007	Navigation System を用いた脊椎後方手術の経験	中西 一夫	整形外科
整形外科 58:322-326, 2007	頸椎後方固定に対するlaminar screwの応用	中西 一夫	整形外科
関節外科 26:73-80, 2007	転移性脊椎腫瘍(胸・腰・仙椎)の手術療法	杉原 進介	整形外科
整形・災害外科 50(12):1439-1444	神経線維腫に対する側湾症の手術経験	田中 雅人	整形外科
J Surg Oncol. 2006Jul:94(1):21-27	Accuate diagnosis of musculoskeletal lesions bycore needle biopsy.	Ozaki T	整形外科
Oncol Rep 2006Mar:15(3):681-685	Magnetic resonance angiography without contrast enhancement medium in bone and soft tissue tumors.	Ozaki T	整形外科
Oncol Rep 2006Feb:15(2):297-303	Chromosomal imbalances in malignant peripheral nerve sheath tumor detected by metaphase and microarray comparative genomic hybridization.	Ozaki T	整形外科
Acta med Okayama 60(3):141-148, 2006	Decreased levels of insulin like growth factor-1 and vascular endothelial groth factor relevant to the ossification disturbance in femoral heads of spontaneous hypertensive rats.	Nishida K	整形外科
J Hard Tissue Biol 15:89-95, 2006.	Expression of WISP-2(ccn4), WISP-2(ccn5) and WISP-3(ccn6) in rheumatoid arthritic synovium evaluated by DNA microarrays.	Nishida K	整形外科
中部整災誌 49:655-656	人工肘関節の発展と限界 -不良例から学ぶ- 岡山大式TEAの経験から	西田 圭一郎	整形外科
Skin Cancer 21: 151-157, 2006	悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検-結果のまとめと今後の検討課題-	浅越 健治	皮膚科
日本皮膚外科学会誌, 10:146-147, 2006(Jul)	リンパ節転移が疑われる皮膚腫瘍での lymphatic mapping	浅越 健治	皮膚科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
西日本皮膚科, 68;532-537, 2006 (Oct)	皮膚悪性腫瘍(非悪性黒色腫)に対するセンチネルリンパ節生検	浅越 健治	皮膚科
Brain & Nerve 2007;59(4):331-338	視機能再生工学 光電変換色素をポリエチレン・フィルムに固定した人工網膜(岡山大学方式人工網膜)の開発	松尾 俊彦	眼科
British Journal of Ophthalmology 2007;91:888-890.	Visual acuity and perimacular retinal layers detected by optical coherence tomography in patients with retinitis pigmentosa.	Matsuo T	眼科
日本眼科紀要 2007;58:153-157	網膜色素変性の白内障手術結果と患者の満足度。	松尾 俊彦	眼科
耳鼻と臨床 53(4), 191-196, 2007	医用画像情報システムを使用した側頭骨手術シミュレーション	西崎 和則	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床 53(1), 8-13, 2007	医用画像情報システムを利用した側頭骨画像診断	西崎 和則	耳鼻咽喉科
Mov Disord. Dec;21(12):2157-64 2006	Identification of a risk haplotype of the alpha-synuclein gene in Japanese with sporadic Parkinson's disease.	Ujike H	精神科神経科
Neurosci Lett. 405(3):202-6, 2006	Correlation of tau gene polymorphism with age at onset of Parkinson's disease.	Ujike H	精神科神経科
Acta Neuropathol (Berl). 112(1):43-51, 2006	Frequency and clinicopathological characteristics of alcoholic cerebellar degeneration in Japan: a cross-sectional study of 1,509 postmortems.	Kuroda S	精神科神経科
Neurology. 67(4):697-9, 2006	Identification and haplotype analysis of LRRK2 G2019S in Japanese patients with Parkinson disease.	Ujike H	精神科神経科
精神科治療学 21(増刊): 324-325 星和書店, 2006	脳に限定した特発性の疾病過程が認知症をもたらす病態 ハンチントン病、	黒田 重利	精神科神経科
症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン、精神科治療学 21(増刊号): 118-119, 2006	全身疾患に精神疾患が由来する病態、Adrenoleucodystrophy	寺田 整司	精神科神経科
Cell Transplantation 16:125-132, 2007	Intracerebral transplantation of genetically engineered cells for Parkinson's disease.	Yasuhara T	脳神経外科
Brain Research 1102:1-11, 2006	Control of dopamine-secretion by Tet-Off system in an in vivo model of Parkinsonian rat.	Shingou T	脳神経外科
Experimental Neurology 199:311-327, 2006	The high integration and differentiation potential of autologous neural stem cell transplantation compared with allogeneic transplantation in adult rat hippocampus.	Date I	脳神経外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cognition and Dementia 6:18-24, 2007	成体由来神経幹細胞の有用性—臨床応用をめざして—.	伊達 勲	脳神経外科
脳神経外科速報 16:741-747, 2006	頸椎前側方アプローチの検討—経椎体脊髓前方減圧術と前斜方鍵穴手術—.	小野田恵介	脳神経外科
AJNR Am J Neuroradiol 27:306-312, 2006	Differential Diagnosis of the Infundibular Dilatation and Aneurysm of Internal Carotid Artery—Assessment with Fusion Imaging of 3D MR Cisternography/Angiography—.	Tokunaga K	脳神経外科
J Neurosurg 105 (2 Suppl Pediatrics): 94-100, 2006	Dynamic motion analysis of fetuses with central nervous system disorders by cine magnetic resonance imaging using fast imaging employing steady-state acquisition and parallel imaging: a preliminary result.	Ono S	脳神経外科
Neurosurgical Review 29(1): 82-87, 2006	Adult unilateral moyamoya disease with familial occurrence in two definite cases—a case report and review of the literature—.	Tokunaga K	脳神経外科
Front Biosci 11: 760-775, 2006	Ex vivo gene therapy: transplantation of neurotrophic factor-secreting cells for cerebral ischemia.	Yasuhara T	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology, Kanno, Kato (eds), Springer-Verlag Tokyo, pp108-113, 2006	Genetically modified cell line grafting for the treatment of Parkinson's disease.	Date I	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology, Kanno, Kato (eds), Springer-Verlag Tokyo, pp131-137, 2006	Neuroprotection and repair by using adult-derived neural stem cell grafting for neurological disorders.	Date I	脳神経外科
脳卒中の外科 34 (Suppl): 52-54, 2006	脳血管への11Rを用いた蛋白質導入—脳血管攣縮への新しい治療戦略の開発—.	小野 成紀	脳神経外科
脳卒中 28 (4): 613-617, 2006	虚血モデルに対する成体由来神経幹細胞を用いた神経再生・保護効果の検討.	三好 康之	脳神経外科
医学のあゆみ 217 (5): 376-380, 2006	神経伝達物質・神経栄養因子産生細胞株の脳内移植—Parkinson病、脳虚血を中心に—.	伊達 勲	脳神経外科
脳循環代謝 18 (1): 16-20, 2006	再生医学からみた脳虚血に対する遺伝子・細胞療法.	伊達 勲	脳神経外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Exp Med 203: 2377-2389, 2006	Carbon monoxide differentially inhibits TLR signaling pathways by regulating Ros-induced trafficking of TLRs to lipid rafts	Morita K	麻酔科蘇生科
Med Chem 2: 271-284, 2006	Heme arginate pretreatment attenuates pulmonary NF-kappaB and AP-1 activation induced by hemorrhagic shock via heme oxygenase-1 induction	Takahashi T	麻酔科蘇生科
Int J Mol Med 18:537-546, 2006	Highly liver-specific heme oxygenase-1 induction by interleukin-11 prevents carbon tetrachloride-induced hepatotoxicity.	Takahashi T	麻酔科蘇生科
Drug Development Research 67: 130-153, 2006	Heme oxygenase-1: A New Drug Target in Oxidative Tissue Injuries in Critically Ill Conditions	Takahashi T	麻酔科蘇生科
Neuropediatrics 37(4): 261-3, 2006	The mildest form of acute encephalopathy Associated with influenza A.	Morishima T	小児科
Nippon Rinsho 64(10):1897-905, 2006	Guideline for the management of Influenza Associated encephalopathy.	Morishima T	小児科
J Neurochem 99(1): 107-18, 2006	Interleukin-1beta induces the expression of aquaporin-4 through a nuclear factor-kappaB pathway in rat astrocytes.	Morishima T	小児科
J clin Virol 37(2): 128-33, 2006	Rapid detection of Epstein-Barr virus DNA by loop-mediated isothermal amplification method.	Morishima T	小児科
No To shinkei 58(7): 561-9, 2006	Influenza-associated encephalopathy	Morishima T	小児科
Pediatrics Infect Dis J 25(6): 572	Oseltamivir and delirious behavior in children with influenza.	Morishima T	小児科
J Gen Virol 87(PT6):1677-83, 2006	Analysis of gene-expression profiles by oligonucleotide microarray in children with influenza.	Morishima T	小児科
Pediatr Int 48(1): 40-3, 2006	Antipyretics and delirious behavior during febrile illness	Morishima T	小児科
Neurology 2006; 66(3): 772-773	Age-related electrical status epilepticus during sleep and epileptic negative myoclonus in DRPLA	Kobayashi K	小児神経科
産婦人科の実際 55: 1305-1309, 2006	潰瘍性大腸炎合併妊娠の検討	平松 祐司	産科婦人科
Acta Med. Okayama 60(2):85-91, 2006	Effects of Radiofrequency Ablation on Individual Renal Function: Assessment by Technetium-99mMercaptoacetyl triglycine Renal Scintigraphy	Mukai T	放射線科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Vasc Interv Radiol. 17:1189-1193, 2006	Percutaneous Radiofrequency Ablation Combined with Previous Bronchial Arterial Chemoembolization and Followed by Radiation Therapy for Pulmonary Metastasis from Hepatocellular Carcinoma	Hiraki T	放射線科
Radiology 241(1):275-283, 2006	Pneumothorax, Pleural Effusion and Chest Tube Placement after Radiofrequency Ablation of Lung Tumors: Incidence and Risk Factors	Hiraki T	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 17(12):1991-1998, 2006	Radiofrequency Ablation of Normal Lungs after Pulmonary Artery Embolization with Use of Degradable Starch Microspheres: Results in a Porcine Model	Hiraki T	放射線科
Acta Med. Okayama 61(3):177-180, 2007	Radiofrequency Ablation Followed by Radiation Therapy for Large Primary Lung Tumors	Mukai T	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 18(1):141-145, 2007	Intractable Pneumothorax Due to Bronchopleural Fistula after Radiofrequency Ablation of Lung Tumors	Sakurai J	放射線科
理学療法科学21 (2):109-114, 2006	徒手筋力計を用いた経時的筋力測定 - 多発筋炎・皮膚筋炎患者に対する3動作総和筋力の応用 -	千田 益生	総合リハビリテーション部
関節外科 26(11):109-110, 2007	人工筋肉によるリハビリテーション支援	千田 益生	総合リハビリテーション部
Curr Cancer Drug Targets. 2007 Mar;7(2):191-201.	Telomerase-specific oncolytic virotherapy for human cancer with the hTERT promoter.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Nat Med. 2006 Oct;12(10):1213-9.	In vivo imaging of lymph node metastasis with telomerase-specific replication-selective adenovirus.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
International Journal of Cancer 119:432-440, 2006	Enhanced antitumor efficacy telomerase-selective oncolytic adenoviral agent (OBP-401) with docetaxel: Preclinical evaluation of chemovirotherapy.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
International Journal of Dermatology 45: 1420-1422, 2006	Regression of pustulosis palmaris et plantaris by periodontal treatment in a subject with severe periodontitis	Akazawa H	歯周科
日本歯周病学会会誌 49(1):71-76, 2007	多血小板血漿 (Platelet Rich Plasma; PRP) と自家骨移植を併用した歯周組織再生療法の評価	岩本 義博	歯周科
Periodontology 2000 40: 94-106, 2006	Gene polymorphisms in periodontal health and disease	Takashiba S	歯周科
日本歯科保存学雑誌 49(6):731-738	造血器腫瘍を中心とした血液疾患患者における歯周病の重症度と <i>Porphyromonas gingivalis</i> に対する血清 IgG 抗体価との関連性に関する研究	高柴 正悟	歯周科
Dental Materials Journal, 25(1):120-124, 2006	Effect of 4-MET and 10-MDP based primers on resin bonding properties to titanium.	Kuboki T	補綴科 (クラウン・ブリッジ)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Brain Research, 1081 (1) :150-155, 2006	ASIC3-immunoreactive neurons in the rat vagal and glossopharyngeal sensory ganglia.	Kuboki T	補綴科 (クラウンブリッジ)
Dental Materials Journal, 25 (2) :214-218, 2006	Spectroscopic characterization of enamel surfaces irradiated with Er:YAG laser.	Kuboki T	補綴科 (クラウンブリッジ)
Experimental Neurology, 198 (1) :260-270, 2006	HSV-1 mediated NGF delivery delays nociceptive deficits in a genetic model of diabetic neuropathy.	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Pain, 126:102-114, 2006	Site-specific increases in peripheral cannabinoid receptors and their endogenous ligands in a model of neuropathic pain	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
The Journal of Dental Engineering, 156:35-36, 2006	ポリリン酸処理によるチタンインプラントへの細胞応答促進と成長因子吸着制御.	前川賢治	補綴科 (クラウンブリッジ)
Stem Cells, 24 (4) :1095-1103	Accumulated chromosomal instability in murine bone marrow mesenchymal stem cells leads to malignant transformation.	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Cell and Tissue Research, 324 (2) :225-236, 2006	In vitro characterization of human dental pulp cells: different isolation methods and culturing environments.	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
PLoS One, 1 (1) :e79, 2006	Mesenchymal stem cell-mediated functional tooth regeneration in swine.	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Stem Cells, 24 (11) :2428-2436, 2006	Mesenchymal stemcell-organized bone marrow elements: an alternative hematopoietic progenitor resource.	Sonoyama W	補綴科 (クラウンブリッジ)
Cranio 25:23-29, 2007	Comparison of inter-twin concordance in symptoms of temporomandibular disorders: a preliminary investigation in an adolescent twinpopulation	Matsuka Y	補綴科 (クラウンブリッジ)
Clinical Oral Implants Research 17 (4) :451-458, 2006.	Does rotational strain at screw tightening affect the attainment or maintenance of osseointegration ?	Maruo Y	補綴科 (咬合・義歯)
Journal of Oral Rehabilitation 33: 609-618, 2006.	Enhanced vertical alveolar bone augmentation by recombinant human bone morphogenetic protein-2 with a carrier in rats.	Shimazu C	補綴科 (咬合・義歯)
Microscopic Research and Technique. Jul. 69 (7) :580-584, 2006	Comparison of bone formation ingrafted periosteum harvested from tibia and calvaria.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Journal of Craniomaxillofacial Surgery 34 (8) :461-465, 2006	Osteogenic potential of cultured human periosteum-derived cells- A pilot study of human cell transplantation into a rat calvarial defect model.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Asian Journal Oral Maxillofac Surg. 18 (3) :172-179 , 2006	Expression and regulation of an antisense RNATranscript of the humanconnective tissue growth factor gene in human tumor cells	Ueno T	口腔外科 (再建系)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
XVIII Congress of the European Association for Cranio-Maxillofacial Surgery. Barcelona, Spain, September 12-16, 2006:117-120, 2006.	The histological and radiographical evaluation of beta-tricalcium phosphate for dental implants requiring bone augmentation.	Ueno T	口腔外科 (再建系)
岡山歯学会雑誌 25(2): 43-47, 2006	当科におけるインプラント埋入前処置としての萎縮顎骨への骨増量術の臨床検討.	植野 高章	口腔外科 (再建系)
岡山歯学会雑誌 25(1): 59-62, 2006	萎縮上顎無歯顎へのZygoma implant fixture systemの手術経験.	植野 高章	口腔外科 (再建系)
岡山歯学会雑誌 25(2): 37-41, 2006	インプラント治療における β -TCP (Tricalcium phosphate)を用いた顎骨増量術の臨床的検討.	植野 高章	口腔外科 (再建系)
Asian Journal Oral Maxillofacial Surgery 18(1):46-51, 2006	Expression of transcription factor Sox9 in the cartilage formation from grafted	Ueno T	口腔外科 (再建系)
Microbes and Infection 8: 2384-2389, 2006	Composition of the bacterial flora in tonsilloliths	Yamamoto T	予防歯科
International Journal of Oral Health 3: 33-37, 2006	Spatial extent of proliferation of oral sulcular epithelium by toothbrushing	Yamamoto T	予防歯科
Oral Diseases 13: 77-81, 2007	Location of proliferating gingival cells following toothbrushing stimulation	Tomofuji T	予防歯科
日本小児歯科学雑誌 45, 358, 2007	先天性表皮水疱症児の口腔ケアについて	西田 綾美	小児歯科

計 139 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森田 潔
管理担当者氏名	総務課長 佐伯 隆二, 医事課長 菅原 秀倫 各診療科長, 中央放射線部長 金澤 右, 医療情報部長 太田 吉夫 薬剤部長事務取扱 千堂 年昭, 看護部長 山田 佐登美

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録			カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 X線写真は、1患者1ファイル方式でいずれも永久保存を原則としている。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。	
病院日誌		総務課		
各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療科 医療情報部		
処方せん		薬剤部		
エックス線写真		中央放射線部		
病院の 管理及 び運営 に関する 諸記 録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 薬剤部		
	体規 制則 確第	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		総務課
	保9 の条 状の 況2	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		総務課
	3 及 び 第	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部
	1 1	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課及び 医療安全管理部
	1 1	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全管理部
	各 号 に 掲 げ る	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者	事務部長 古泉 浩司
閲覧担当者氏名	総務課長 佐伯 隆二
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室 (病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所)

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.9%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	15,397 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,690 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,242 人	
	D: 初診患者の数	29,078 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

規則第9条の2 3及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(10)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止委員会の運営に関する事。 ・ 医療事故防止対策の立案に関する事。 ・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関する事。 ・ リスクマネジャーとの連絡調整に関する事。 ・ 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関する事。 ・ その他医療事故の防止・医療の安全性の向上に関する事。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関する基本的な考え方 ・ 安全管理の体制確保のための委員会の組織規約 ・ 医療事故発生時の対応方法 ・ 各部門ごとの安全管理マニュアル ・ 患者からの相談への対応に関する基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故の防止及びその対策に関する事。 ・ 医療事故防止マニュアルの作成に関する事。 ・ 医療事故防止の教育・研修に関する事。 ・ その他医療事故の防止に関する事。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイで学ぶ医療安全とコミュニケーション ・ 医療訴訟の現状と事故発生後のあるべき対応 ・ あなたは知っていますか？－日本の新しい心肺蘇生法－ 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> マニュアル整備, インシデントレポートシステム, リスクマネジャー配置, 医療事故等調査委員会, 院内研修, 院内相互チェック実施 	